

今度「小川芋銭と珊瑚会の画家たち」展（4月9日?5月23日）を開催することになりました。

芋銭をご存じない方のために彼をご紹介します。

芋銭は「うせん」と読み、「河童の芋銭（かっぱのうせん）」として有名な画家です。吉田兼好の『徒然草』に登場する芋好きのお坊さんにちなんで自分で付けた画号です。「自分の絵が、芋が買えるほどの銭になればいい」と願ってつけたそうです。江戸の武家の生まれですが、農民となって茨城県の牛久沼のほとりに住み、奥の細道にならって日本各地を旅して、水魅や田園の風物を、時には風刺をこめながら、暖かな眼差しで描いた画家です。



(H. K.)